

みなみそうまの 文化芸術

(令和2年2月1日発行)

文化芸術情報紙『みなみそうまの文化芸術』では、市内の文化芸術イベント情報を紹介しています。市のホームページもご覧ください。



文化芸術イベントカレンダー

https://www.city.minamisoma.lg.jp/portal/culture/geijutsu_bunka/5336.html

第13回南相馬市総合美術展覧会を開催しました

令和元年11月16日（土）から19日（火）までの4日間、小川町体育館にて標記展覧会（市美展）を開催しました。本市の秋の風物詩としておなじみとなった市美展には、今回970点の作品が出品され、2,500人以上の市民の皆さんに芸術の秋を堪能していただきました。

市美展賞の受賞作品



【日本画の部】 佐久間重光さん「静寂」



【洋画の部】 風越幸恵さん「実りの秋」



【書の部】 長澤哲晃さん「臨吳譲之」



【写真の部】 高田毅さん「激戦」



【彫刻・工芸の部】
熊田美枝子さん「宇宙の輝き」

【開催報告】 第13回南相馬市総合美術展覧会 受賞者

令和元年11月17日(日)に原町生涯学習センター「サンライフ南相馬」にて表彰式を開催しました。
受賞者は次のとおりです(敬称略)。今回から小中学校の部の表彰を拡充し、受賞者が増えました。

一般の部：受賞者34人

部門	受賞名	氏名
日本画	市美展賞	佐久間 重光
	優秀賞	岡田 ケイ子
	優秀賞	中野 勇
	奨励賞	高橋 恵子
洋画	市美展賞	大井 廣利
	市美展賞	風越 幸恵
	優秀賞	佐藤 由子
	優秀賞	門馬 美智子
	奨励賞	鈴木 康男
書	市美展賞	末永 昇
	市美展賞	日野岡 汐里
	優秀賞	長澤 哲晃
	優秀賞	泉 勝明
	奨励賞	穴戸 あけみ
彫刻・工芸	市美展賞	佐藤 志津子
	優秀賞	鎌田 久美子
	優秀賞	早川 リイ子
	奨励賞	熊田 美枝子
	奨励賞	西内 公子
	奨励賞	杉浦 久美子
写真	市美展賞	石川 宏子
	優秀賞	但野 逸子
	奨励賞	箱崎 二紀子
	奨励賞	榎内 保子
	奨励賞	風越 良一
写真	市美展賞	高田 豪
	優秀賞	草野 勝昭
	優秀賞	渡部 将大
	奨励賞	伊賀 敬益
	奨励賞	邊見 雅弘
彫刻・工芸	市美展賞	只木 吉昭
	写真	志賀 正明
写真	特別賞	佐藤 誠一
	特別賞	折笠 正人



市美展の展示（一般の部）彫刻・工芸

小中学校の部(小学生)：受賞者33人

部門	受賞名	氏名	学校名	学年
平面作品	市長賞	吉田 吏杏	原町二小	1
		松本 拓真	小高区4小	2
		豊田 光裕	八沢小	3
		鶴島 想也	高平小	4
		門馬 章悟	上真野小	5
		日野岡 早紀	原町二小	6
立体作品	教育長賞	中村 玲音	原町三小	1
		村松 律希	石神二小	2
		橋本 宗佑	原町一小	3
		鈴木 亜優	大甕小	4
		高田 柚奈	小高区4小	5
		瀬尾 悠月	原町三小	6
書	市長賞	志賀 ゆめり	原町一小 (共同作品)	4
		綾部 乃愛		
		山本 玲奈	小高区4小	5
		岡田 宗太	石神二小 (共同作品)	6
		星 優陽		
		山田 舜		
書	教育長賞	渡部 琉斗	鹿島小	4
		長谷川 喜生	原町二小	5
		富澤 舜輝	小高区4小	6
		堀川 詩織	石神一小	1
		高玉 凜	原町三小	2
		前田 晃佑	高平小	3
	市長賞	湊 優莉	原町三小	4
		渋佐 のんの	原町一小	5
		西田 莉臥	鹿島小	6
		酒本 心菜	小高区4小	1
		森岡 和音	原町二小	2
		松岡 姫那	原町一小	3
	教育長賞	多田 和香菜	鹿島小	4
		小泉 蒼士郎	石神二小	5
		田仲 永愛	太田小	6



市美展の展示（一般の部）洋画

小中学校の部(中学生)：受賞者18人

部門	受賞名	氏名	学校名	学年
平面作品	市長賞	小澤遼大	原町二中	1
		加藤志歩	鹿島中	2
		牛来春日	原町一中	3
	教育長賞	佐藤日向子	原町三中	1
		渡邊恵	原町一中	2
		澤田明依	石神中	3
立体作品	市長賞	番場幸	原町二中	2
	教育長賞	佐久間天音	小高中	2
書	市長賞	佐藤穂乃香	原町二中	1
		佐久間天音	小高中	2
		佐藤美優	原町一中	3
	教育長賞	菅野凪沙	原町一中	1
		加藤志歩	鹿島中	2
		小澤萌音	石神中	3
技術家庭	市長賞	只野悠馬	鹿島中	1
		渋佐るちる	原町一中	2
	教育長賞	鈴木凜々杏	原町一中	1
		齋藤杏珠	原町二中	2



市美展の展示（小中学校の部）立体作品



市美展の展示（小中学校の部）書

展覧会とあわせて、伝統文化体験の茶会や日本画のワークショップを開催しました

子ども伝統文化体験（茶会）

講師の指導のもと、参加の子どもたちがお点前し、展覧会や表彰式の来場者にお茶をふるまいりました。

日 時：令和元年11月17日（日）

13時00分～16時00分

会 場：原町生涯学習センター

「サンライフ南相馬」

講 師：茶道裏千家淡交会南相馬同好会6人

参加者：子ども茶道教室参加児童9人

来場者：約130人



日本画ワークショップ

『日本画を描いてみよう！』
～日本画の材料と技法にふれる～

講師の作成した下絵に日本画の絵の具を使って、塗り絵を楽しみました。

日 時：令和元年

11月16日（土）13時30分～15時30分

17日（日）10時00分～12時00分

会 場：小川町体育館

講 師：奥山安正さん（招待作家）

来場者：約100人



コラム：書道に親しもう～「書道」とは何か～

今回の市美展で一般の部から「書」の出品数が増えました。書道は、一言で言えば「文字の芸術」であるといえます。日本語は、漢字・ひらがな・カタカナをミックスして書き表します。書道では、これらの文字を毛筆を使って美しく書くことを目指します。そこには、さまざまな書き方や表現があり、勉強すればするほど奥深い世界が広がっていきます。国においても書道など日本文化の振興を図ることについて、文化芸術振興基本法で定めています。書道の基本を今号で解説します。

書道の魅力

筆を使って文字を書くと、書いた人の上手下手はもちろん、性格や人間性まで表れます。同じ文字でも書く人による違いが出るのです。人の手によって美しく書き表した「書」は、パソコンなど機械で印刷された文字にはない「味わい」があるといえます。

芸術文化としての発展

書道が現代まで発展してきたのは、「漢字そのものの形が面白く、言葉に深い意味を込められる」「強弱や濃淡、かすれなど、同じ文字でも無限に表現できる可能性がある」といった魅力があるからでしょう。書道は、数千年にわたって芸術的価値、文化的地位が高められてきた奥深い芸術なのです。

書道の美しさとは

書道は「墨の芸術」「線の芸術」ともいわれます。紙の上に筆で文字を書くと、文字そのものの形や配置、バランスの美しさに加え、残された周囲の余白までも美しく感じることができます。また、行書や草書などの書体や、かな文字には、それぞれの美しさがあり、上級者になると、それをいかに表現するのかという楽しみも味わえます。

床の間に掛け軸

最近では、床の間のない住宅も増えましたが、日本の多くの家には床の間があり、そこには絵のほか、書の掛け軸が飾られています。書の作品は、書かれた紙のまま飾ることはまずありません。額に入れたり、掛け軸や屏風などに仕立ててから、ふさわしい場所に飾り、芸術作品として鑑賞します。

文字の種類・落款(らっかん)

漢字にはいくつかの書き方があります。篆書(てんしょ)、隸書(れいしょ)、草書、行書、楷書の5つをあわせて「五体」といいます。五体の中で最も古い書体は篆書で現在印鑑に用いられています。1ページ目に掲載の市美展賞の作品は、この書体です。

また、書や絵の作品に誰が書いたのかを記すことを「落款」といい、落款に使う判子を「落款印」や「雅印」ともいいます。書の作品は、名前などを刻んだ落款印を押すことで完成するといえます。

※参考文献

『茶道・華道・書道の絵辞典』 P H P 研究所



市美展の展示（一般の部）書